

## エリック・ベロック

リュート奏者

[eric@bellocq.info](mailto:eric@bellocq.info)

[www.bellocq.info](http://www.bellocq.info)



エリック・ベロックは、パリの音楽院においてアレクサンドル・ラゴヤの元でギターを学び、主席で卒業しました。1983 から 1990 年にかけてウィリアム・クリスティ率いるバロック・アンサンブル、レザール・フロリサンにおいてテオルポを演奏し、またラ・シャペル・ロワイヤル、ルーヴル宮音楽隊、レ・タラン・リリク、ラ・グラン・エキュリー・エ・ラ・シャンブル・デュ・ロワ、ル・コンセール・スピリテュエル、アカデミア、ル・コンセール・アストリー、およびフェニーチェと共にオペラ制作ならびに演奏会に参加しています。

ベロックは 1990 年以來、独奏ならびにドミニク・ヴィス率いるアンサンブル・クレマン・ジャヌカンでのリュート奏者としての役割に力を注いでいます。マショーからベリオに至る作品のリサイタルで、ドミニク・ヴィスならびにジャズピアニストのフランソワ・クチュリエと共演しています。また投げ物曲芸師、ヴァンサン・デ・ラヴェネーレと共に、「ボールの歌、古楽と即興と曲芸の出会い」と題されたプログラムを創作しました。

エリック・ベロックは、アコード、アデス、アルファ、クラーベ、デッカ、エラート、ハルモニア・ムンディ、バージン、ヴェラニー、ジグザグ・テリトリーズから多数の録音を出しており、またソロ CD をフレームから、ドミニク・ヴィスとの共演をキングレコード(日本)から、マッシモ・モスカルドとの二重奏リサイタルをナクソスから、ジャン・ポール・フシェクールとの共演をピュア・クラシックスからリリースしています。またパリの音楽院で指導に当たっています。

2006 年 3 月